

◆◆◆主な功績◆◆◆

【団 体】

山元町放課後子ども教室
「みやまっこクラブ」 殿
(山元町)

設立当初は、①読書離れの目立つ児童が本と触れる機会を設ける、②地域の方々と児童のふれ合いの場とする、③異年齢の仲間づくりを進める、という目的を掲げ、私設図書館「熊谷文庫」で活動を始めた。平成21年度より活動場所を山下第一小学校へ徐々に移し、体験活動や遊びを多く取り入れた。東日本大震災以降は、学習活動サポーターをはじめ地域の方々及び参加児童の明るさやコミュニティ再生につながることを強く目指し活動を継続している。本教室は、平成17年度の設立から①地域コミュニティづくり、②児童が安全で安心のできる活動と場所の確保、③体験活動の充実、④異年齢及び世代間交流の場の提供に寄与してきた。

鳥屋ヶ崎獅子舞保存会 殿
(加美町)

平成25年から同地区に所在する賀美石小学校に保存会の方々が出向き、小学5～6年生を対象に獅子舞の指導をしている。指導の成果は、学校行事をはじめ地域の祭り等で披露され、児童や保護者、地域住民にとって地域の伝統芸能の素晴らしさや大切さを感じ取る良い機会となっている。また、獅子舞を学んだ児童が、現在では保存会を支える人材に成長しているなど、地域の伝統芸能継承活動に貢献し、協働教育推進に大きく寄与している。

若柳図書ボランティア
「ぼっかぽか」 殿
(栗原市)

栗原市立若柳小学校の図書ボランティアとして、全学年の教室に出向き、絵本の読み聞かせや紙芝居を行っている。ほかにも、図書室の本の整理や修理なども定期的に行っている。さらに、長期休業中には、若柳公民館にて、「読み聞かせ会」を実施し、若柳小の多くの児童を受け入れている。図書ボランティアとして、子どもたちへの読み聞かせを継続し、読書の楽しさを伝え、読書への興味・関心を高めてきている功績は大である。

女川町
江島法印神楽保存会 殿
(女川町)

「江島法印神楽」は、江島に伝わる県指定重要無形民俗文化財で、毎年5月の島の神社の例祭で神楽を奉納していた。東日本大震災後開催できずにいたが、会員の方々の伝統を守りたいという強い思いと、女川の子供たちに伝統を伝えたいという願いから、女川中学校に「江島法印神楽」を体験する講座が新設された。講座では、木村悦雄会長を始め、会員の方々が講師として、平成24年から現在までの7年間、子供たちに指導している。総合的な学習の時間の「江島見学」の学習への支援も行い、協働教育の推進やふるさと教育の推進に努めている。

とよま囃子保存会 殿
(登米市)

「とよま囃子」は、延宝3年(西暦1675年)登米5代藩主・伊達村直公の時代から行われている「とよま秋まつり」の山車の中で囃されるお囃子で340年以上続いている。この「とよま囃子」を後世に伝えていこうと、「とよま囃子保存会」が昭和62年から、登米市立登米小学校の児童と登米市立登米中学校の生徒に「とよま囃子」の演奏や木遣りの仕方を教え始め、今年で31年目を迎える。学校行事や地域の祭りで披露し、好評を得ている。地域の伝統芸能の継承はもちろんのこと、地域を愛し地域を誇りに思う児童、生徒を育てるという観点からも協働教育推進に多大なる貢献を果たしている。

二ツ屋老人クラブ緑寿会 殿
(登米市)

二ツ屋老人クラブ緑寿会は、日本文化の伝承と地域活性化のために、旧二ツ屋小学校の校長が提案した「しめ縄づくり」を昭和47年から始め、現在まで継続して行っている。地元の農家が昔ながらの棒掛けで自然乾燥させた「わら」を使用し、日本古来の「しめ縄づくり」を豊里小・中学校の3年生を対象に体験の機会を提供している。この体験を通して、作ることの楽しさを伝えるとともに、自分たちの地域の文化を知らせ、地域のすばらしさを実感する活動につなげることで、学校と地域との協働活動に大きく貢献している。

行山流水戸辺鹿子躍保存会 殿
(南三陸町)

水戸辺地区の住民たちが守ってきた「行山流水戸辺鹿子躍」は、300年以上も前に誕生した。一時期途絶えてしまったが、昭和57年「躍供養碑」の発見を機に鹿子躍復活の機運が高まり、一関市舞川の鹿子躍保存会の指導を受け、平成3年水戸辺在郷地区の有志が保存会を結成する。「水戸辺鹿子躍」は、鹿頭をつけた8人の踊り手が太鼓を打ちながら踊り、魔を退け、先祖を供養する踊りで、地区行事には欠かせない存在である。保存会は、郷土芸能を地区全体で伝承していこうと小学5年生以上に鹿子躍の指導を続けている。東日本大震災で被災したが、奇跡的に拾い集められた太鼓、衣装で子供たちが活動を再開し、現在は、各地の祭典やイベントにも参加し地域の人々を元気づけ、絆を繋げる重要な役割を果たしている。

株式会社明治
北日本支社 仙台オフィス 殿
(仙台市)

みやぎ教育応援団設立当初の平成23年度から団員として登録し、地域の明治社員が、主に小・中学校の教育活動を支援してきた。五感を刺激する「お話し」と「体験」を組み合わせ、スライドやクイズを交えた楽しく分かりやすい出前授業は、学校の教育課程に配慮された内容となっている。また、子供たちの食への関心を高める食品会社ならではの専門的なプログラムは好評であり、食育推進にも大きく貢献している。年間平均96件の講師派遣回数みやぎ教育応援団の中でも際立っており、地域の企業が学校の教育課程を踏まえ一体となって子供を育てる姿は、今後の社会教育に一層求められるものであり、地域学校協働活動の模範となっている。

宮城県教育委員会 協働教育推進功績表彰団体・個人一覧

(敬称略)

【個人】

佐山 芳照 様
(村田町)
学校支援ボランティア

長きにわたり、町内小・中学校、幼稚園、保育所において、子供たちの体験学習支援に取り組んでいる。特に、町の特産品である紅花や、さつまいも・大豆などの畑作物を中心とする農業体験学習の支援を行っている。ボランティアのまとめ役にもなっており、活動を充実させるため

の地域ボランティアの組織化や、新たな人材の発掘にも努めている。その顕著な活動は、当町の協働教育の推進に対し、多大な功績となっている。

松田 ゆう子 様
(柴田町)
統括コーディネーター

地域人材の発掘や地域コーディネーターの育成に尽力するだけでなく、学校とボランティアの思いに寄り添い、活動の企画・立案も行うことで、一方的な支援にとどまらない双方向の協働活動を展開する要となっている。また、自らも「しばたっ子応援団員」としても活動し

ており、「子どもたちの学びを核とした地域づくり」推進に大いに貢献した。さらに、平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞にも大きく貢献した。

石垣 ゆう子 様
(亘理町)
学校支援ボランティア

吉田小学校の学校支援ボランティアとして、学習支援、農業体験支援、環境整備等を行っており、通算活動期間は20年となる。また、教職員へ環境整備等の指導・助言や地域住民の支援の調整を行っている。その活動は、学校と学校支援ボランティアをつなぐコーディネーターの役割であり、

学校にとって欠かせない存在である。さらに、ほぼ毎日、校地整備を行っており、その活躍ぶりは、地域にも知れ渡っているほどである。

赤坂 正夫 様
(大郷市)
地域コーディネーター

平成23年度より大郷町協働教育推進事業における運営協議会委員及びコーディネーターとして、中心的に活動している。

平成23年度より、個人ボランティアとして定期的に小学校児童の登校見守り活動、学校の学習畑の耕起の協力など、主体的に活動し協働教育

の振興に貢献している。

渡邊 美恵子 様
(岩沼市)
放課後子ども教室コーディネーター

子供の居場所づくり運営委員会委員として、岩沼市放課後子ども教室推進事業の運営に尽力している。また、放課後子ども教室コーディネーターとして、放課後における子供たちの安心・安全な居場所づくりの推進に努めている。様々な体験学習を実施して子供たちを楽しませるとともに、放

課後児童クラブとも積極的に連携を図る等、一体型推進にも熱心に取り組んでいる。

三浦 てい子 様
(登米市)
学校支援ボランティア

登米市の図書館司書としての経験を生かして、上沼小学校や浅水小学校で絵本の読み聞かせを行ったり、宝江小学校や他5校の図書室の環境整備、図書の分類整理、コンピュータを使った本の登録作業などに取り組んでいる。また、登米市ブックスタート事業の読み聞かせボランティアや登米高等

学校茶道部の外部講師としても活躍している。ボランティアのリーダー的存在であり、地域と学校のパイプ役として尽力している。

畠山 光夫 様
(気仙沼市)
地域コーディネーター

気仙沼市議会の要職を務め、若いころから学校教育のみならず、公民館事業等にも長きに渡り積極的に関わってきた。平成26年度からは地域コーディネーターとして、自らの農漁業の経験やそれまでの人脈を活かして、地域内小中学校や保育所等の教育活動に積極的な支援を行ってきた。特に、階上

小学校や波路上保育所の行事で、適切な講師を選定し、派遣したりするなど、地域の協働教育事業推進に大きく貢献した。

団体	やまもとちょうほうかごこどもきょうしつ「みやまっこクラブ」 山元町放課後子ども教室「みやまっこクラブ」	(山元町)
	とりやがさきししまいほぞんかい 鳥屋ヶ崎獅子舞保存会	(加美町)
	わかやなぎとしよぼらんていあ「ぽっかぽか」 若柳図書ボランティア「ぽっかぽか」	(栗原市)
	おながわちょうえのしまほういんかぐらほぞんかい 女川町江島法印神楽保存会	(女川町)
	とよまばやしほぞんかい とよま囃子保存会	(登米市)
	ふたつやろうじんくらぶろくじゅかい 二ツ屋老人クラブ緑寿会	(登米市)
	ぎょうざんりゅうみとべししおどりほぞんかい 行山流 水戸辺鹿子躍保存会	(南三陸町)
	かぶしきがいしゃめいじ きたにほんししゃ せんだいおふいす 株式会社 明治 北日本支社 仙台オフィス	(仙台市)
個人	さ やま よしてる 佐山 芳照	(村田町)
	まつだ ゆうこ 松田 ゆう子	(柴田町)
	いしがき ゆうこ 石垣 ゆう子	(亘理町)
	あかさか まさお 赤坂 正夫	(大郷町)
	わたなべ みえこ 渡邊 美恵子	(岩沼市)
	み うら ていこ 三浦 てい子	(登米市)
	はたけやま みつ お 畠山 光夫	(気仙沼市)